



Reitaku Overseas Development Association

# RODAニューズレター

財団法人麗澤海外開発協会 会報

平成20年  
(2008年)  
7月15日

## 第10号

第6巻 第1号  
年3回発行

### 主な記事

巻頭 カンボジア小学校校舎完成  
報告 平成19年度事業報告  
お知らせ チャリティコンサート開催  
その他 寄付金等の報告

発行所：財団法人麗澤海外開発協会  
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1  
TEL.04-7173-3165 FAX.04-7173-8953  
<http://www.reitaku.or.jp>  
発行人・木下廣太郎 / 編集人・横山守男

## カンボジアに2校目の小学校校舎が完成 子どもたちと村人の笑顔に感動！

平成20年2月28日、MIRC(モラロジー国際救援運動推進委員会・平成20年に当協会と統合)は、皆様のご支援によりカンボジアで2校目となる小学校の校舎を贈呈しました。

今回の新校舎贈呈式には、第5回カンボジア・スタディツアーの10名が参列しました。

新校舎が完成したトム・オー小学校は、カンボジアの中心に位置するコンポントム州にあります。トム・オー村までは、コンポントムの町から約110km。悪路のため車で約3時間かかりました。

式典は、森林を切り開いて作られたばかりのグラウンドで行われ、州副知事をはじめ村人や生徒など300名以上が集いました。

僧侶による読経、そして両国の国歌の斉唱で始まった式典は、厳粛さのなかにも温かさを感じる内容でした。

式典に引き続き、新校舎でテープカットと調印式が行われ、その後、教室において記念会食となりました。

村人手作りの料理によるご馳走と盛大な歓迎振りに、参加者一同は胸が熱くなる思いでした。

午後は、村の人々が温かく見守る中、子どもたちと一緒に歌や踊りなどで交流を楽しみました。その子どもたちと村人の笑顔に、たくさんの感動もあった1日でした。

今回の新校舎建設にあたり、SVA(社団法人シャンティ国際ボランティア会)にご協力いただきました。心から感謝申し上げます。



贈呈式の様子



子どもたちと歌と踊りで交流



新しい教室で勉強できてうれしいです！

## ラオスのタート・インハン小学校校舎再建

# いよいよ完成間近！

前回の会報において、ラオス南部に位置するサワンナケート県タート・インハン小学校の老朽化した小学校校舎の再建プロジェクトへのご協力をお願いしたところ、岐阜県及び愛知県モラロジー経済同友会の皆様をはじめ、たくさんの方々からあたたかいご支援を頂き、新校舎建設に必要な資金438万円を現地に送ることができました。

平成19年12月より、SVA(社団法人シャンティ国際ボランティア会)と協力し、工事がスタート。平成20年2月に行われたタイ・ラオススタディツアーで訪問した時には、旧校舎が取り壊され、新校舎建設の下地部分ができた状態でした。その後順調に工事が進み、塗装とドアと窓の取り付け、新しい机や椅子、黒板などの搬入を残すのみとなりました。校舎の再建に当たっては事前に校長、村長、文部省、教育省の役人が十分に話し合いの場をもち、建設中の建材の管理なども村人の協力を得て進

められています。

今まで雨風が吹き込む、電気のない校舎で学んでいた小学生たちは、仮校舎で完成を楽しみに待っています。

タート・インハン村は教育への関心が高い地域であり、校長をはじめ村人の期待も大きく、生徒も勉強への強い意欲を持っています。しかしながら、ラオスの現金収入が少ない村人の生活では、教育にかかる負担が大きく、加えて政府からの教科書配付が1994年以降止まっているなど、老朽化して倒壊危険がある校舎以外にも教育環境を改善していく必要性が高いのが現状です。新校舎が完成した後は校舎の管理やスタッフの育成をするなど、ソフト面もフォローアップしてまいります。また、未来をつくる子供たちのために、現地の要望でもある図書館建設を予定しています。今後とも引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げるとともに、あらためて多くの支援者の皆様に感謝申し上げます。

### - 建設の様子 -



2月

下地部分が整いました



3月

壁が徐々にでき上がってきました



4月



5月



子どもたちはこの仮校舎で完成を待っています





Report from the spot 現地リポート

# Thailand

## タイ北部 教育支援活動

メーコック財団では5月から、新たに教育環境や家庭が経済的に恵まれない子供たち20名を加え、現在38人の子どもたちが支援を受け、共同生活をしながら学校へ通っています。一度はメーコック財団を離れて生活していた3人の子どもたちも再び戻ってきました。メーコック財団での共同生活と規律を苦し

み感じ、自由さを求めて外へ出たものの、厳しい社会に身を置いて、それまでメーコック財団でスタッフの愛情を受け、守られていること、そこで生活し、教育を受けられることのありがたさを感じ、切実に戻りたいと希望してきたのでした。

少数民族の子どもは特に、貧しいことや将来への不安から身近にある犯罪や麻薬取引に巻き込まれることが少なくありません。学校に行けること、家族が安定した生活を送れること、そのことさえ彼らにとっては当たり前に入ること



子どもたちがもともと生活していた村の様子



少数民族の子どもの中には客引きをして生活費を稼いでいる子もいる

とではありません。

それでも、メーコック財団で生活する子供たちには、看護師や警察官、教師や軍人になるという夢があります。少なくともこの子どもたちが夢を持ち続けられるように、叶えられる環境に近づけるように、息の長い支援が必要とされています。

報告：渡辺朋子(麗澤海外開発協会スタッフ)



もぐさを作るときに使う石臼

# Nepal

## ネパール 医療支援活動

発電の100%が水力というネパールでは、ここ数年電力不足で、生活に大きな影響を及ぼしています。ネパールは大きく分けて4か月は雨季、8か月が乾季で、乾季が進むにつれて水不足、電力不足が深刻化します。12月中旬から計画停電が始まり、当初は週2日の2時間程度の停電でしたが、新年になり一挙に週36時間になりました。

よもぎの会では春から初夏にかけて採集した乾燥よもぎを雨季の間保管し、乾季になり天候が安定したところからもぐさの製造をはじめます。したがって電力を一番必要とする時期は乾季。石臼、ながとおし、とうみなど、すべて電気モーターの力を必要としています。ゼネレーター(仮設電源装置)を購入しましたが、稼働させるのに必要なディーゼルが入手困難な上、会話ができないほどの大きなエンジン音が村中に響き渡るため使用を控えています。

ネパールでもここ数年、新しい集合住宅(エレベーターつき高層マンション)が乱立し、カラオケレストランが開店、郊外にどんどん住宅が広がり、電気の消費量が増加しています。1時間停電しただけでも大きな社会問題になる日本の皆さん、毎日8時間にも及ぶ停電がどんな影響を及ぼすか、想像できますか？



報告：畑美奈栄(鍼灸師)

ながとおし

## ミャンマー・サイクロン被害および中国・四川大地震被害への緊急支援について ご協力ありがとうございました！

麗澤海外開発協会では、平成20年5月2日から3日にかけてミャンマーで発生したサイクロン被害および5月12日に中国・四川省で発生した四川大地震の被害に対する緊急支援のため、5月中旬から6月末日まで募金活動を行いました。

ついでには、緊急支援の性格上、とり急ぎ前期として6月15日までにお寄せいただいた募金を6月16日に日本UNHCR協会(国連難民高等弁務官事務所の公式支援窓口)に贈り、引き続いて後期として6月末日までにお寄せいただいた募金を、7月7日に同じく日本UNHCR協会に贈らせていただきました。

この結果、ミャンマー・サイクロン被害および中国・四川大地震の被害に対する緊急支援金の合計額は1,105,881円(双方へ50%ずつ)となりました。関係者および募金をお寄せいただいた多くの皆様に厚く御礼を申し上げ、ここにご報告いたします。

**合計 1,105,881円** ご支援いただきました。

※写真掲載にあたりましては、日本UNHCR協会の許可を得ております。



中国成都の空港に到着したUNHCRのテント



ミャンマーに届けられたビニールシート



## 書き損じハガキについて ご協力ありがとうございました！

**まだまだ  
募集中！**

麗澤海外開発協会では、皆様から書き損じハガキを集めています。

送られたハガキは、郵便局で新しい切手に交換し、通信費に活用させていただき、ひいてはネパール、タイ、ラオス、カンボジアへの教育・医療支援活動や、海外において災害などが発生した場合の緊急支援活動に役立たせていただいております。

官製ハガキであれば、古い年賀ハガキでもかまいませんので、未使用のものを当協会事務局までお送りください。

平成20年2月から5月末日までに **574枚** が集まりました。



## ロゴマークについて たくさんのご応募ありがとうございました！

麗澤海外開発協会では、シンボルとなるロゴマークの募集を昨年7月から行ったところ、30作品を超えるご応募をいただきました。去る平成20年3月15日、厳正な審査を行った結果、兵庫県在住の杜多利夫氏の作品が最優秀作品として選ばれ、平成20年度から本協会のロゴマークとして採用することが決定しました。「麗澤」のイニシャルである「R」に「国際」の象徴としての「地球」を重ね、さらにそれらを人類の幸福を示す「ハート」とつなげることで、活動のイメージをデザインしたとのこと。

このロゴマークを幅広く活用することで、本協会の活動をより多くの方々に知っていただくことを願っています。ご応募くださった皆様に、厚く御礼を申し上げます。



# 新しい募金箱ができました

平成20年4月、MIRC(モラロジー国際救援運動推進委員会)と統合し、新たなイメージを皆様にお届けするため、募金箱のデザインを一新させていただきました。デザインは堀部晃一さん((財)モラロジー研究所職員)で、「世界中のたくさんの人たちと心と心をつなぎ、ともに協力し合い、子どもたちの未来をつないでいこう」という思いを込めてデザインしていただきました。

募金箱は大・小2種類ございます。ご希望の方がございましたら、麗澤海外開発協会事務局までお問い合わせください。



## 平成20年「伝統の日」に出展しました

今年6月、千葉県柏市において(財)モラロジー研究所および(学)廣池学園主催の「伝統の日」が開催され、麗澤海外開発協会では、ミャンマー・サイクロン被害および中国・四川大地震被害の募金活動や、活動紹介展示とタイおよびネパールの民芸品販売を行い、多くの皆様にご協力いただきました。本誌を借りて厚く御礼申し上げます。



また今年、麗澤大学に新しくできたIEC(麗澤大学外国語学部外国語学科国際交流・国際協力専攻)の学生さんや、サークル「プアン」の皆さん、麗澤中学高等学校の皆さん、モラロジー専攻塾の方々、そして遠くから卒業生も駆けつけてくれ、大変たくさんの方にお手伝いいただきました。これからも国際協力の輪を広げるため、一步一步頑張っていきたいと思います。

## たくさんのご支援、ありがとうございます

(平成20年1月から平成20年5月末日)

### 会費

新井秀啓、稲川照男、井上源一、井上源次、井藤寛一、岩田啓成、上田通泰、梅村元成、大井武、大住敬一、太田徳昭、大谷誠之、大山寿々枝、荻野益男、奥山恵俊、小野剛、金子武正、岸本 収、小嶋義佑、小松務、小山松男、嶋田順子、東海林新彦、白木貞一郎、栗山清和、高野橋孝治、田島正幸、土谷和光、中川千恵子、永治達彦、橋本半兵衛、長谷和治、長谷川和子、林正勝、廣池英行、福井博康、福澤清治、藤村きみ、発坂卓雄、前田三作、俣野幸昭、宮本勝子、望月一雄、森下健、山崎純雄、山田雅雄、山本祥子、和田悦治、渡辺 价儀、渡邊安春、宮脇常夫、高松宇佐雄、杉浦廣道、西村マサノ、大村 金三、中村修一、渡辺朋子、内田八代、平川恵一、山口マーク、川真商店、ジャトー(株)、(株)ピアかざりや、佐藤薬品工業(株)、(株)ダイキョーブラザ、(株)小松製菓、(株)赤塚植物園、(株)スーパーリユ九州本部、大垣モラロジー事務所、あったか森の国ニューモラルクラブ、東京北モラロジー事務所 レインボー会

### 竹原基金

井上源一、岩田啓成、ウィクラマラタナ文子、上田通泰、梅村元成、大山圭子、岡田彩花、岡田奈奈絵、岡戸絵美、奥山恵俊、御代川克之、小山友里江、柏谷康博、岸本 収、小嶋義佑、東海林新彦、白木貞一郎、栗山清和、竹原秀男、田島正幸、土谷和光、中川千恵子、ナゴヤ美容(株)、長谷和治、長谷川和子、長谷川武、廣池英行、風澤俊夫、福井博康、発坂卓雄、前田三作、松井さだ子、三保博子、宮本勝子、望月雄二、山田莊一、山田雅雄、山本祥子、横溝久子、和田悦治、井上千多枝、加藤栄一郎、宮脇常夫、鋤柄勘治、西村マサノ、中村修一、渡辺朋子、内田八代、飯島孝夫、平川恵一、木野千代子、三浦俊夫、杉浦廣道、ナゴヤ美容(株)、高知県モラロジー協議会、大木産業(株) 麗澤大学プアンサークル

### 一般寄付金

相川修治、朝日山和旦、井田孝、伊東俊太郎、井上源一、今木康之、岩田啓成、上田通泰、内野俊策、梅村元成、大山圭子、岡野奈央、荻野淳、荻野有美、荻野和子、荻野恵子、奥山恵俊、御代川克之、小野剛、柿本勇人、東海林新彦、白木貞一郎、鈴木幸造、鈴木靖久、栗山清和、田島正幸、中野芳典、野田雅義、長谷和治、福井博康、星野修一、発坂卓雄、前田三作、増田一江、増田顕次朗、三上ハツミ、望月雄二、森与喜男、山田雅雄、吉川正三、宮脇常夫、杉浦廣道、中村修一、渡辺康博、飯島孝之、三浦俊夫、大河原良雄、島村弘子、和田和久、(株)アイデイ、四日市女性クラブ、呉東モロジ-事務所、岐阜西モラロジー事務所、尾西モロジ-事務所女性クラブ、京都東山区ニューモラルクラブ (敬称略)

会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は、掲載に同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。(麗澤海外開発協会事務局：04-7173-3165)

# — 平成19年度事業報告 —

## 1. 技術者の派遣と支援事業への助成

<ネパール>

(1)ネパール王国において東洋療法(鍼灸・指圧)により住民の健康回復に寄与するために、日本人専門家を派遣して治療技術者の育成を行い、また、治療に使用する「もぐさ」の製造技術者を育成し自立支援を実施した。

<タイ>

(1)タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している、メーカー財団に対して支援と助成を行った。

<ラオス>

(1)サワンナケート県、タート・インハン村の小学校校舎再建設の支援と助成を行った。

## 2. 海外研修旅行の実施およびサポート

(1)タイ・ラオススタディツアーの実施

- ①日程 平成20年2月11日(月)～19日(火)(9日間)
- ②参加者 15名
- ③行先 タイ(バンコク、チェンライ)、ラオス(サワンナケート)

(2)麗澤高等学校タイ・スタディツアーの運営サポート

- ①日程 平成19年12月20日(木)～28日(金)(9日間)
- ②参加者 9名
- ③行先 タイ(バンコク、チェンマイ、チェンライ)

## 3. 海外視察

(1)メーカー財団およびティテパティよもぎの会の活動状況の把握および今後の支援計画の検討のため、現地調査を行った。

- ①メーカー財団 平成19年11月3日(土)
- ②ティテパティよもぎの会 平成19年11月4日(日)～5日(月)

## 4. 賛助会員募集

賛助会員、寄付金、竹原基金の募集を行った。

- (1)賛助会員 法人：19社 個人：138件
- (2)寄付金 86件
- (3)竹原基金 177件

## 5. 広報活動

- (1)ニューズレター(会報)第8号(7月)、第9号(2月)を発行した。
- (2)インターネット・ホームページを改定した。  
(URL: <http://www.reitaku.or.jp/>)
- (3)協会のロゴマークを公募し、選定を行った。

## 6. 概説・原典研究講座の選択コースの実施

## 7. 講演会・報告会・勉強会の開催

## 8. 出展活動

- (1)「伝統の日・感謝の集い」  
平成19年6月2日(土)・6月3日(日)
- (2)モラロジー研究所主催  
「生涯学習フェスタ2007」  
平成19年9月30日(日)
- (3)モラロジー研究所主催「全国女性大会」  
平成19年10月14日(日)

## 9. 会議の開催

本法人の運営にあたって、次のとおり開催した。

- (1)第84回理事会・第44回評議員会
- (2)第85回理事会・第45回評議員会
- (3)MIIRCとの組織統合に向けた打合せ
- (4)事務局打合せ

詳しくは当協会のHPにも掲載されておりますので、そちらをご覧ください。



駐日ラオス人民民主共和国特命全権大使非公式訪問



「全国女性大会」では棒灸の無料実演を行いました

## 平成19年度収支決算書

事業活動		支出の部	
①基本財産利息収入	400,000	①事業費	2,248,813
②賛助会費収入	2,370,000	海外調査費	0
③寄付金収入	972,080	海外旅費	2,161,337
④竹原基金収入	3,429,940	広報活動費	42,000
⑤受取利息収入	1,217,626	図書資料費	45,476
⑥雑収入	13,000	②助成支出	4,875,000
当期収入合計	8,402,646	③管理費	1,103,581
前期繰越収支差額	1,971,883	給料・手当	0
収入合計	10,374,529	会議費	426,500
		旅費交通費	52,660
		通信費	156,994
		消耗品費	126,552
		印刷費	202,545
		交際接待費	30,000
		雑費	108,330
		当期支出合計	8,227,394
		次期繰越収支差額	2,147,135
		支出合計	10,374,529



## タイ・ラオス スタディツアー開催 「本当の幸せ」を考える旅に



平成20年2月11日から9日間、5回目のスタディツアーを行いました。タイ北部にあるメーコック財団(貧困等の理由により学校に通えない20名の子どもたちに寄宿舎を提供、通学支援や職業訓練を行っている)や、平成19年12月から竹原基金によって校舎の建て直しが始まったラオス・サワンナケートのタート・インハン小学校を訪問、村が抱えている教育問題について校長や村長からお話をうかがったほか、子どもたちとふれあうなど、貴重な機会を得ることができました。

大学生を中心とする13名の参加者は、タイとラオスでの体験を通して「幸せとは何だろう」「日本は精神的な豊かさを失ってしまったのではないか」ということについて考えを深めたようで、みずからを見つめ直す旅となりました。子どもたちの輝く瞳と笑顔は、私たちに大切なことを投げかけてくれたようです。



### ラオス

タート・インハン小学校ではラオスの伝統儀式である「バーシーの儀式」で歓迎していただき、その後はお寺や森、染色工場などを見学しました。



### タイ

メーコック財団を訪れ、子どもたちと畑仕事をしたり、少数民族の村を訪れました。また麻薬博物館や象乗り体験など、とても充実した内容でした。



### ● 参加者感想 ●

このツアーで経験したことを多くの友人や家族に話し、教育のこと、タイやラオスのこと、海外支援についてのことなどを、私はもちろんのこと多くの人々に考えてもらい、実行に移してもらえようがんばりたいと思います。また、今回訪問した教育施設の方々の活動を見て、私も自分のためだけでなく他の人たちや社会のために生きていくことができる人間を目指していきたいと思いました。(20代男性)

# チャリティコンサート

開催のご案内

## アジアの子どもたちに学校を！！

財団法人麗澤海外開発協会では、東南アジア諸国に対してより充実した国際支援活動を行うため、教育施設の建設支援や運営援助を目的としたチャリティーコンサートを開催することになりました。ぜひご参加ください！

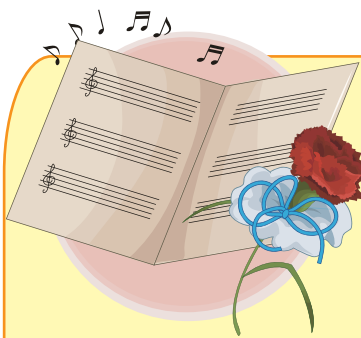
なお、このコンサートの収益は、タイの教育施設（メーコック財団）への援助や、ラオスの図書館建設の援助のために使用されます。

# 2008年9月28日（日）

13:00開演（12:00開場）

会場 行徳文化ホールⅠ&Ⅱ（千葉県市川市）

アクセス 地下鉄東西線「行徳駅」より徒歩5分



泉ゆりの（ピアニスト）、斎藤恵美（歌手）、藤弥美里（ポップス歌手）  
土谷佳菜子（バイオリニスト）、フレーベル少年合唱団



泉ゆりの



藤弥美里



土谷佳菜子



フレーベル少年合唱団

### 第一部 ☆ 援助活動報告会 ☆

麗澤海外開発協会&麗澤大学ボランティアサークル「ブアン」による活動紹介など  
休憩（休憩時間に支援活動の展示やタイなどの民芸品の販売を行います）

※出演者は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

### 第二部 ☆ 心をつなぐコンサート ☆

入場料金（チケット前売り料金） 全席自由

高校生以下	800円	（当日料金 1000円）
大学生	1500円	（当日料金 2000円）
一般	2800円	（当日料金 3000円）



● コンサート、チケットに関するお問い合わせ先 ●

財団法人麗澤海外開発協会 チャリティーコンサート実行委員会 事務局  
TEL：04-7173-3165 FAX：04-7173-8953（担当：小林、渡辺）



主催：財団法人麗澤海外開発協会（<http://www.reitaku.or.jp/>）  
協力：麗澤大学ボランティアサークル「ブアン」  
後援：麗澤大学、麗澤中学・高等学校、財団法人モラロジー研究所